

令和 8 年  
長野県  
農作物病害虫・雑草防除基準  
  
別冊  
【薬用作物】

＜注意事項＞

- ・令和 7 年 11 月 30 日現在の農薬登録内容による。
- ・本防除基準をご使用になる前に、本冊に掲載されている「活用上留意する事項」「特別指導事項」「薬剤抵抗性管理」を必ずお読みください。

## 1. 薬用ニンジン

・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
-	(クロルピクリン) クロピク 80 ドロクロール ドジョウピクリン	土壌くん蒸	-	1 回	
	クロールピクリン	土壌くん蒸	-	1 回	
19	ポリオキシシン A L 水和剤「科研」	散布	収穫 30 日前まで	20 回以内（但し、1 年間に 5 回以内）	
2	ロブラール水和剤	散布	収穫 14 日前まで	4 回以内	

・殺菌剤（参考農薬）

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M1	(銅水和剤) I C ボルドー 6 6 D	散布	発病前～発病初期	-	

・殺虫剤（参考農薬）

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	オルトラン水和剤	散布	収穫 180 日前まで	5 回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決めているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、本冊に掲載されている「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 使用回数は栽培期間内の回数であり、播種から収穫までの総使用回数なので、間違えないように注意する。

注4) 商品名ポリオキシシン A L 水和剤「科研」でしか登録がない。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病 害 虫 名	防 除 時 期	防 除 方 法	注 意 事 項
根 腐 病 (F)	播 種 前 ま た は 植 付 前	1. クロルピクリン剤で土壌消毒する（土壌消毒の項を参照）。	
灰 色 か び 病 (F)	生 育 期 間	1. ロブラール水和剤 1,500 倍液を散布する。	1. 発生は地際部に多いので、土際部及び株際周辺の土壌に十分散布する。 2. 4 年生株以上に発病が多いので、防除を徹底する。 3. 被害茎葉は、発見次第集めて焼却する。 4. 畦の通路前面や果実の部分にも丁寧に散布する。
斑 点 病 (F)	生 育 期 間	1. ポリオキシシン A L 水和剤 1,000 倍液、又はロブラール水和剤 1,500 倍液を散布する。 [参考農薬] 1. I C ボルドー 6 6 D の 50 倍液を散布する。	1. 4 年生株以上に発病が多いので、防除を徹底する。 2. 被害茎葉は、発見次第集めて焼却する。 3. 畦の通路前面や果実の部分にも丁寧に散布する。
ア ブ ラ ム シ 類	生 育 期 間	[参考農薬] 1. オルトラン水和剤 1,500 倍液を散布する。	1. 発生初期に散布する。
ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	播 種 前 ま た は 植 付 前	1. 土壌線虫の項を参照する。	

注) 越冬病害虫駆除のため、10 月中旬～下旬に、地上部の茎葉が枯れたら、茎の付着部から切り取り集めて焼却する。

## 2. せんぶり

### ・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
11	アミスター20フロアブル	散布	収穫7日前まで	3回以内	
NC+M1	ジーファイン水和剤	散布	収穫前日まで	—	
M5	ダコニール1000	散布	収穫7日前まで	12回以内 (但し、1年 間に6回以 内)	
1	ベンレート水和剤	散布	収穫前日まで	12回以内 (但し、1年 間に6回以 内)	

### ・殺虫剤

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
6	コロマイト乳剤	散布	収穫7日前まで	1回	
21	サンマイトフロアブル	散布	収穫75日前まで	1回	

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決めているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、本冊に掲載されている「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 使用回数は栽培期間内での回数であり、播種から収穫までの総使用回数なので、間違えないように注意する。
- 注4) 蚕毒・魚毒については、本冊に掲載されている「特別指導事項」「野菜 34. 野菜類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病 害 虫 名	防 除 時 期	防 除 方 法	注 意 事 項
さ び 病 (F)	5 月 ～ 9 月	1. ジーファイン水和剤、ダコニール1000の1,000倍液、アミスター20フロアブル、ベンレート水和剤の2,000倍液のいずれかを散布する。	1. 発病前から予防的に散布する。 2. QoI剤に関する注意事項「野菜 34. 野菜類の総括注意」参照。
シクラメン ホコリダニ	生 育 期 間	1. コロマイト乳剤、又はサンマイトフロアブルの1,000倍液を散布する。	1. 発生初期に散布する。 2. コロマイトは蚕毒に特に注意する（特別指導事項参照）。

### 3. しゃくやく（薬用）

・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M5	ダコニール 1000	散布	収穫 45 日前まで	15 回以内（但し、1 年間に 3 回以内）	

注1) 使用回数は栽培期間内での回数であり、播種から収穫までの総使用回数なので、間違えないように注意する。

注2) 蚕毒・魚毒については、本冊に掲載されている「特別指導事項」「野菜 34. 野菜類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病 害 虫 名	防 除 時 期	防 除 方 法	注 意 事 項
うどんこ病 (F)	生育期間	1. ダコニール 1000 の 1,000 倍液を散布する。	1. 発生初期に散布する。

・除草剤

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
タッチダウン i Q	雑草茎葉散布	畦間処理：雑草生育期（但し収穫 7 日前まで）	3 回以内（グリホサート 3 回以内）	
トレファノサイド乳剤	全面土壌散布	萌芽前（雑草発生前）	5 回以内（ただし、1 年間に 1 回以内）（トリフルリン 5 回以内）（ただし 1 年間に 1 回以内）	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期 及び処理法	対象雑草	除草剤の種類及び 10 a 当り使用量	使 用 法	注 意 事 項
生育期 畦間雑草茎葉散布 (雑草生育期)	一年生雑草	タッチダウン i Q (グリホサート・カリウム塩 44.7%) 250～500mℓ	1. 水 25～100ℓに溶かして均一に散布する。少量散布の際には、専用ノズルを使用する。	1. しゃくやく及び周囲の作物に飛散しないように注意する。 2. タッチダウン iQ は、魚毒に注意する。
萌芽前 (雑草発生前) 全面土壌散布	一年生雑草 (ツクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	トレファノサイド 乳剤 (トリフルリン 44.5%) 300mℓ	1. 水 100ℓに溶かして均一に散布する。	

## 4. とうき

・除草剤（参考農薬）

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
ゴーゴーサン乳剤	一年生雑草	全面土壌散布	定植後（雑草発生前）（但し、収穫120日前まで）	300mℓ/10a	1回（ペンデイメタリン1回）	I	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) キク科雑草とツユクサには効果が劣るので、これらの優占圃場では使用しない。

## 5. かのこそう

・除草剤（参考農薬）

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
トレファノサイド乳剤	一年生雑草（ツユクサ科、カヤツリクサ科、キク科、アブラナ科を除く）	全面土壌散布	定植後萌芽前（雑草発生前）（但し、収穫120日前まで）	300mℓ/10a	1回（トリフルリン1回）	I	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。